

平成23年度

行政改革実施計画の執行状況

行政サービス向上を目指した取り組みを進めています

厳しい財政状況の中、新たな行政需要に的確に対応し市民の信頼に応えるため、平成22年3月に「行政改革大綱」と具体的な取組内容を示す「実施計画（平成22年度～平成26年度）」を策定しました。今回は、5カ年計画の2年目となる平成23年度の主な項目の執行状況を報告します。

☎ 企画調整課 36・7120

島田市行政改革大綱と実施計画とは

市総合計画の7つの施策の1つである「市民と行政がともに創る、活力に満ちたまち」を推進し、市民サービスの向上と効率化を目指すため、その具体的な取り組みについて定めたものです。この大綱の中で、次の3項目を行政改革推進の基本方針として、具体的な目標値などを掲げた実施計画を策定し、進捗管理を行っています。

【柱となる3つの基本方針】

- ① 効果的かつ効率的な行政運営の推進
- ② 親しみやすい市役所づくり
- ③ 自主性・自立性の高い財政運営の確保

効果的かつ効率的な行政運営の推進

組織・機構の見直しや補助金などの整理合理化を進め、行政サービスに対する市民満足度の向上を図りました。

●組織・機構の見直し

（平成24年4月1日から実施）

災害対応や防災力の強化を図る

ため、防災課を新設するなど、即応性に優れた柔軟な組織・機構の再編を行いました。

●補助金などの整理合理化

（効果額8574万2000円）

24件について廃止し、14件について統合・改善・縮小を行いました。給与の適正化

（効果額689万7000円）

定時退庁日の徹底や時差出勤など柔軟な勤務体制により、時間外手当を削減しました。

親しみやすい市役所づくり

市民が求めるサービスを的確かつ適切に提供することも、職員の人材育成に努め、市民の利便性の向上を図りました。

●利用しやすい行政サービス体制の確立

窓口業務の時間延長および土曜開庁を行うとともに、こども館および新島田図書館のオープンに向け、市民が利用しやすい開館時間を検討しました。

●人材の育成

地域課題研修、政策形成研修などを実施し、質の高い職員の養成に努めました。

自主性・自立性の高い財政運営の確保

経済的な視野に立ち、限られた行政資源を適正かつ公正に配分し、一層の財政の健全化に取り組みました。

●効率的な公的施設の運営

（効果額396万3000円）

指定管理者制度の適正な管理・運用を図るため、12の指定管理者について、指定管理者・事業担当課・内部評価者による評価を実施しました。

29の施設において指定管理者制度を活用し、経済的かつ効果的により良い市民サービスを提供しました。

●経費の節減合理化による財政の健全化

（効果額1億9927万6000円）
利用計画のない物件について、公売や貸付などを行いました。



新島田図書館の様子

■実施計画の取り組み状況（単位：千円）

年度（平成）	目標効果額	実績効果額	達成率
22	707,988	499,818	70.6%
23	497,785	478,586	96.1%
24	373,278	—	—
25	443,694	—	—
26	787,740	—	—
合計	2,810,485	978,404	34.8%

※行政改革大綱および行政改革実施計画は、市のホームページ（<http://www.city.shimada.shizuoka.jp/>）に全文が掲載されています。また、市役所情報公開コーナーでもご覧いただけます。